

1997
11・12月号
156



切り絵：竹野 敬夫

お西さん

顔は誰のものか？

顔は、その人の表看板です。

「顔を売る」とか「顔をきかす」とか申します。また「顔をつぶされた」と怒ります。四十歳になれば「自分の顔に責任を持つ」とも言われます。

しかし、よくよく考えてみると、顔は自分のものでありながら、実は自分のものでない、他のためにあるんだということがわかります。

どんなによく見える目でも、自分の顔を見ることはできません。自分の顔でありながら他の人のために見せているのです。だから、顔は自分のものだと言えないのではないのでしょうか。

人さまに見てもらおう顔ならば、感情の赴くままに顔色を変えず、少しはやさしいおだやかな顔で接し、人さまの心を和ませたいものだと思います。

「思いうちにあれば、色自ら外にあらわる」と申します。化粧したり繕う顔は、自分に都合が悪くなるとつい本性をあらわします。顔がその人柄や心根をあらわす表看板なら、もっともっと大事にいたしましょう。

輪番 佐々木俊朗

ふれあいの寺 **本願寺函館別院**
函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647

12月28日(日)~30日(火)は本堂の「煤払い」と御本尊の「御身拭」のため、月忌参りをお休みさせていただきます。

愛 ふれ 高 ランド



■はるばる函館、はや四ヶ月■

上磯町の大浅さん宅へお参りさせて頂きますと、チャイムを鳴らしてドアを開けた瞬間いつも元気いっぱい犬が出て来てむかえてくれます。玄関から仏間に向かう途中も部屋ごしについてきてくれます。ところがその日に限ってはお勤めが始まりますと、いつもは元気に吠えている犬が妙に静かでした。「なんでやるか？奥様がいつもとお経が違うのかなとおっしゃられるくらいの静かさです。「いつもと同じなんやけどなあ」犬も私に慣れてくれたのでしょうか？私も函館に来て四ヶ月弱と、少しずつ慣れてきたことと思います。また、それと一緒に気の緩みといえますか、そういう部分も多少でてきておりまして、今一度、「しっかりとしなきゃいかなあ〜」と思いました。

(廣澤)

■ようこそそのお参り ありがとうございます■

大縄町にお住まいの辰宮さん。先月行われた宗祖聖人報恩講にようこそのご参拝でした。ご商売を営まれているので、月参りにお伺いした時も「なかなかお参りに行けなくて；でも報恩講さんだけは、必ずお参りさせていただくからね。」と笑顔で話していただきました。当日お店をぬけ出して、お寺に足を運んでいただきありがとうございます。たくさんのご門徒のみな様と共に聖人のお徳を讃えたふれあいのひととき。これからも一人でも多くの方にお寺にお参りに来ていただけたらよう精進してまいります。

(黒田)

■念仏の声を世界に子や孫に■

松川町の平松八ナさんのお宅に何うとお婆ちゃんが必ずお参りされます。なんとも言えぬ有難いお婆ちゃんのお念仏を聞くと、心の底からの御恩報謝の気持ちひしひしと感じられ、私の心もグツとひきしまる思いがします。

先日、よせて頂いた時には御祥月のお参りで、家におられた人たちみんなでお念仏を称えられておりました。その中になんともかわいらしい女の子三人。お婆ちゃんの横に並んでみんなきちんとおすわりをして、いっしょになって手を合わせお参りしていました。

遊び走り回りたい年頃だと思えます。しかし普段お婆ちゃんが仏さまの前にすわる姿を見ているからこそ、自然とできたのではないのでしょうか。日々の生活の中で仏さまに自然と手を合わせること。それが本当にお念仏を伝えていく姿ではないでしょうか。

(吉村)

■やる事、やれる事■

豊川町の高橋さんのお宅にお参りに伺いますと、高橋のお婆あちゃんはいつとも必ずと言っていいほど家の外から中から掃除しています。お婆

あちゃんに「いつもいつも綺麗好きで掃除もなかなか大変だね」と言いますと、「嫁に来たときから厳しい姑さんに何十年もいろいろ教えられたから何かやってないと落ち着かなくて」とニコニコ笑っておっしゃいました。そして「いやいや、仕事も何も無ければ自分で自分で探してやるものだから次から次とやることのできて」とおっしゃられた時、その言葉に自分がとても恥ずかしくなっていました。忙しければ忙しいと文句言い、仕事が無ければ無いでダラダラとしてしまう。探せば仕事もやる事も沢山あるはずなのに横着になっている、そんな自分がとても恥ずかしく深く反省し、そして高橋のお婆あちゃんにまた一つ勉強させて頂いた事でした。

(高倉)

■とつても輝いていましたよ■

堀川町の高橋寿子さん。先日、別院の報恩講のよろこびの広場の中で、踊りをご披露して下さいました。毎月お伺いさせて頂いていますが、お会いしているときには、少し小柄な、控えめな感じの方です。その人が、別院の会館の舞台の上で、着物姿で踊っておられるときには、その姿がすごく大きく見えました。踊り終わら

れて、お食事を召し上がっている時のお姿は又ふだんのお顔でした。

一つの物事を一生懸命されているときにはその人が、カガヤイテ見えるのだと、つくづく感じさせて頂きました。機会がありましたら、又そのお姿を見せて下さい。

(神田)

■和顔愛語■

櫻本町の南部さんは、お参りに伺わせていただくと、ご夫婦そろって優しい笑顔で私を迎え入れて下さいます。また、南部さんご夫妻は熱帯魚を飼っていらつしゃるのですが、私が興味を持ち、その水槽をのぞき込みましたら、やはり優しい笑顔で嬉しそうにその熱帯魚の事を教えてくれました。

そんな南部さんを見ると、和顔愛語という言葉が思い浮かびます。和顔愛語とは仏教語で「和やかな顔で、愛情ある言葉で人に接する」という意味です。

私自身、普段の生活を考えてみると、時間に追われセカセカしたり、なかなか心に余裕を持ってません。ですから、その様な南部さんの笑顔にお会いすると心が洗われ、ありがたい気持ちにさせていただけなのです。

(石黒)

■わかっていづもりでも■

東山三丁目にお住まいの野崎さんが、ご趣味で川柳をされていて、大会などにも参加されていることは、以前のお西さんにも紹介させていただきました。その野崎さんですが、毎週金曜日に川柳を教える教室も開いています。先日お参りに伺った時にその話題になりまして、野崎さんが「人にものを教えるのは難しいですね。川柳をまったく知らない人に教えるわけですから、から教えないといけないのです。これが難しいですね。でも、勉強になります。」とおっしゃいました。

自分でわかっているつもりでも、人前で話してみると、なかなかうまくいかないものです。私たちも門徒の皆様の前で法話させていただく機会がありますが、自分で勉強してわかっていづもりでも、いざ話してみるとなかなかうまくいかず、わかっていないことに気付かせて頂くことがよくあります。でも、これも勉強なんですね。みなさんも何か学んだら、人前で話してみたいかがですか？きつと、また何か学ぶものがあると思います。

(山岸)

■サンドイッチを召し上げ■

柏木町の滝沢秀美さんは、パン屋のご主人。とっても研究熱心な方で、次々にヒット商品を発明されているのです。ちなみに私のオススメは白身魚のフライのサンドイッチ。みなさんも一度ご賞味されてはいかがでしょう。

日吉三丁目の小坂アヤ子さん、報恩講の五日間、足が痛いのにみなさんのお斎(お食事)の用意をお手伝い下さって、本当にお疲れさまでした。また、柳町の木下さんの奥さまも、お茶の接待、どうも有り難うございました。

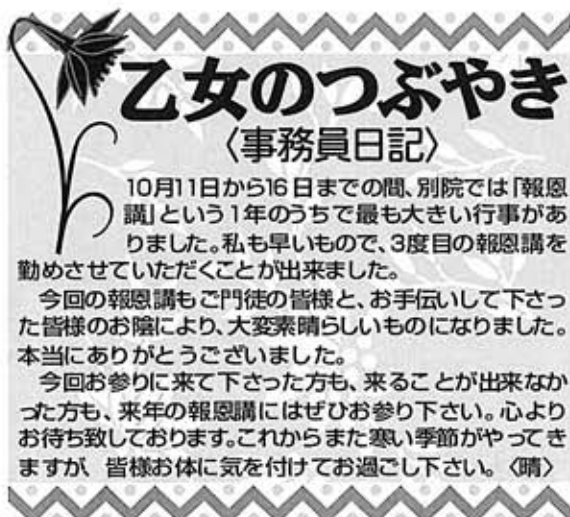
また、「よろこびの広場」では深堀町の米内八四子さん、日吉三丁目の中島実さん、竹沢千代さんがそれぞれめでたく賞品をゲット！よかったですネ。これからもお寺にお参りして下さい。

(石丸)

■ふれあいのお店■

「デパートに行かず、うちの店まで、わざわざ電車等を使っていらして下さるお客様もいます。ありがたいです。よ。末広町で「きむら」というお店を開いておられる木村さんは教えて下さいました。

ただ単に商品売る、というので



乙女のつぶやき

〈事務員日記〉

10月11日から16日までの間、別院では「報恩講」という1年のうちで最も大きい行事がありました。私も早いもので、3度目の報恩講を勤めさせていただくことが出来ました。

今回の報恩講もご門徒の皆様と、お手伝いして下さった皆様のお陰により、大変素晴らしいものになりました。本当にありがとうございました。

今回お参りに来て下さった方も、来る事が出来なかった方も、来年の報恩講にはぜひお参り下さい。心よりお待ち致しております。これからまた寒い季節がやってきますが、皆様お体に気を付けてお過ごし下さい。(唄)

はなく、お客さんとの対話、ふれあいを大切にされているところが魅力なのでしょう。「自分がつらい思いをしている時には、皆さんに声をかけていただいて、はげましてもらったんです。そんなお客様だから、私も精一杯させてもらえます。苦勞も多いですけど楽しく買い物をしていただいて、気持ちよく帰ってもらえたら、とても嬉しいんです。」

利益ばかりをいつい求めてしまいがちな今、一番大切な事をしっかり守っておられる木村さん。「なかなか景気が」と苦笑いもされてますが、その心があれば全然大丈夫だと思います。これからもガンバって下さい。

(小笠原)

先祖 報恩講

07.10/11▶16

ホッパ



黒田参勤、御伝抄
お褒れ様でした。



みんな、緊張の面持ちです。



たくさんの方がおつとめにきて下さいました。



輪番、
決まっていますヨ!

今年もたくさんの方々が
お手伝いして下さいました。
本当にありがとうございました。



今年も、おいしいものいっぱい、
楽しいひとときをすごしました。



三会合同 報恩講

□ 壮年会・覚信尼会・青年会 □

12月16日(火) ●午後6時より
本堂にて

法話 佐々木輪番

仏教婦人会 報恩講

□ 物故者追悼法要 □

11月21日(金) ●午後1時半より
本堂にて

法話 佐々木輪番



龍谷幼稚園の子ども達も
きちんとおまいりできました。
みんなえらいね!

宗親鸞聖 の 夕

お楽しみのよろこびの広場



デッパラーズ初登場!



決まってる?
すっかりなりきっています。



江差別院・河村輪番の乾杯の音頭で
楽しいひとときが始まりました。



神田副輪番のあいさつ



輪番もすっかりリラックスのお顔です。

見事な芸を披露



素晴らしい踊り、見事な手品…皆さん芸達者で、ただ、ただ脱帽!!



なごやかに話もはずみます。

函館
南無の会
講演会

日時◆平成9年11月8日(土)
午後2時~

会場◆西別院文化会館

南無の会会長
松原 泰道氏

講師◆南無の会事務局
中島 教之氏

会費◆1,000円 ※詳細については
西別院まで
お問い合わせ下さい。

除夜の鐘をつきましょう

除夜会

12月31日(水)
大晦日

●午後11時30分より本堂にておつとめ
●引き続き除夜の鐘

ほのぼの
お念仏の集い
温泉説法

日時●12月18日(木)・19日(金)

会場●湯の川花びしホテル

会費●¥10,000

※お申込み・お問い合わせは西別院まで

9/21

先日、東別院にお参りに行く
お友達が、私の主人にもお参りし
たいと申して下さい、ご一緒に
お参りに来ました処、お友達が
云いますのに「此のお寺がお掃除
も行き届いて水まわりもとても
きれいでうらやましい」と云って
居り、私はうれしく思いました。
亡き主人もこんなきれいな処に
居られ、さぞ喜んで居る事と
感謝して居ります。

処が9/21にお参りに来ましたら、
納骨堂に行く手前の水まわりの
処が折角きれいになったのに
雑巾や洗剤等がずらりと雑然と
置いてあり、一寸お水を呑みたいと
思ってもコップ一つもなく、
又呑む気になれませんでした。
どうか一ヶ所だけでもきれいに、
水でも呑もうと思える様に
して下さい。お願いします。

檀家の一人として

本堂の雑記帳より

心の花束



平成9年9月14日
滋賀、広島より、
おまいりさせて
いただきました。

ちょうど、
運動会でした…
ごくろうさま。



滋賀教区 湖北組 龍本寺
丁野 恵
滋賀教区 犬上組 浄覚寺
藤 真雄
守芸教区 黒瀬組 西福寺
満田 一葉



仏教青年会・会員募集!

何かに情熱を注ぎたい、
誰かに悩みを打ちあげたい、
とりあえず楽しみたい、
そんなアナタにステキな出会いが待っています。
孤独な我々現代人には安らぎの場が必要です。
仏教青年会はそんな若者の心のオアシスなのです。
とりあえず私たちまでお電話下さい。

〈西別院・高倉健司、石黒堅司〉



園児募集

明るい日差し・暖かいぬくもりが、
のびやかに子どもを育ててくれます。
人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を伝える
宗教教育、それが**龍谷幼稚園**です。

願書配布
平成9年
11月12日(水)
13:00から

願書受付
平成9年
11月26日(水)
13:00から

●お問い合わせは● **龍谷幼稚園 ☎23-0274**



お西さんテレフォン法話

24時間好きなときにいつでもどうぞ

0138 27局 2424番

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| ●10月26日(日)~11月 1日(土)…輪 番 | ●11月30日(日)~12月 6日(土)…廣 深 |
| ●11月 2日(日)~11月 8日(土)…高 倉 番 | ●12月 7日(日)~12月 13日(土)…輪 番 |
| ●11月 9日(日)~11月 15日(土)…輪 番 | ●12月 14日(日)~12月 20日(土)…謝 輪 番 |
| ●11月 16日(日)~11月 22日(土)…石 黒 番 | ●12月 21日(日)~12月 27日(土)…輪 番 |
| ●11月 23日(日)~11月 29日(土)…輪 番 | ●12月 28日(日)~ 1月 3日(土)…石 丸 番 |

●十一月 三日
●十二月 八日
※現在は「正信閣」の写経を行っています。
初めての方もどんどんご参加下さい。

浄書(写経)の会

●十一月 二十九日 報恩講
●十二月 お休み
会場 日吉町熊合宅にて
お問い合わせ ☎0138-54-6859

土曜の会へ行こう

ようこそ常例布教へ

根室組 教雲寺 衆徒
●11月 小林 専修 先生
●12月 函館組 瑞教寺
小松 正樹 先生
十一月 職員法話
十二月 布教使
十一月 輪番法話
※なお、毎月十六日は、十二時半より
十六日会です。

おくやみ申しあげます。

編集後記

▼今年もなんとか無事に報恩講を勤め終えることが出来ました。これも婦人会はじめ、皆様の支えあってこそ、と感謝しています。

さて私は?といえますと、六年目だというのに相も変わらず「いつもどうしてたかな?」「来年の課題だね」の連発。次回は、来年は、と言っているうちに課題ばかりがどンドン増えているような気がします。(小笠原)

▼テレビのドラマで、小さい女の子が星座をみつめながら言っていました「夜空に輝く星たち、明日は今日と同じ処にはないのよ。明日は違う位置で輝いているの。」私自身もそうなのでした。今日の私は今日限りです。宗祖の報恩講を終えて、一日一日を今ここで精一杯やっつけようと思う今日この頃です。(石丸)

永代経懇志
ありがとうございました。



龍谷 幼稚園 です



本堂でのお誕生会

丹下 涼子先生



「先生、今日は誰のお誕生日?」、「いいな～〇〇ちゃん」と、子ども達が楽しみにしているお誕生会。

毎月一回、本堂で行われるお誕生会は、心を静かに落ち着かせるお参りから始まります。

かわいい両手に念珠をかけ、合掌、礼拝し、おつとめをして、元気いっぱい讃仏歌をうたいます。「足が痛いよー!!」「まだ終わらないの?」などという声もきこえてきますが、園長先生のジェスチャーを交えた、面白いお話



が始まると、子ども達の心も体も、ウキウキ、ワクワクと大喜びです。

ちょっぴり苦手なお参りが終わると、誕生児は、先生方手作りの動物ペンダントを園長先生から首にかけてもらい、得意満面。一緒に参列しているお母様方も、我が子の成長に目を細め、感無量の一時



です。そして、み仏様に成長した姿を見せ、「どうもありがとうございます」と、皆で感謝致します。その後には、先生方と一緒にゲーム遊びをしたり、皆でお祝いの歌をうたって楽しめます。お昼は、お母様方のおいしいごちそうを頂き、誕生会を終了します。

